

海洋開発 国際シンポジウム

～ 2030年に向けた海洋石油・ガス開発の技術戦略～

～日本が技術大国になるために～

開催日時：2017年10月4日（水）13:30～

場所：日本財団ビル（東京都港区赤坂1-2-2）

主催：日本財団

言語：日英 同時通訳

後援：国土交通省

内閣府総合

海洋政策推進事務局

海洋開発の中でも、世界で投資額30兆円を超える巨大な市場規模を有する海洋石油・ガス市場は、2030年には50兆円に達するとも言われており、将来拡大する有望な分野です。このような市場において、低コスト化、地球温暖化防止、安全確保といったニーズが高まっています。これらニーズに対応するために、素材、ロボット、センサー、IoTなど、日本が従来から競争力を持つ分野の技術を新たに取り入れていくことが求められています。グローバルな視点で戦略的に取り組んでいけば、日本が将来において当該分野で技術イニシアティブをとっていくことは十分可能です。また、その技術力は、将来のメタンハイドレートや海底熱水鉱床等の開発に大いに役立つと期待されます。日本財団では、日本が海洋石油・ガス分野技術において将来世界でイニシアティブをとることを目的として、2030年に向けた技術開発戦略づくりを行っています。本シンポジウムでは、世界中から海洋石油・ガス開発にかかるキーパーソンを招待し、世界が求めている技術の方向性、日本が取り組むべき新技術・将来技術について一歩踏み込んだ議論を行い、日本の技術戦略を提案していきます。

※プログラムは変更となる可能性があります

13:00	開場
13:30	開会
13:30	開会挨拶 日本財団 会長 笹川陽平
13:35	来賓ご挨拶 国土交通省 経済産業省
13:45	講演1 Key Trend of the oil and gas industry and impact on future technology David Thompson Vice President / Wood Mackenzie
14:15	講演2 Technology Innovation Strategy of DeepStar in the Gulf of Mexico Shakir Shamshy Director of DeepStar / Chevron
14:40	講演3 Future Offshore Technology and Innovation Strategy in the North Sea Stephen Sheal External Relationship Director / The Oil & Gas Technology Centre
15:05	休憩
15:15	講演4 Technology Innovation in Schlumberger: Approach and examples Rob Jones President / Schlumberger Japan
15:40	講演5 Opportunities for digitisation and technology to reduce the cost of subsea operations Kevin Whooley VP Strategy & Development / Wood Group
16:05	講演6 Open information platforms for cost effective and increased sustainability in drilling operations Anne Grete Ellingsen CEO / Global Center of Expertise: Norwegian Offshore and Drilling Engineering (GCE NODE)
16:30	休憩
16:40	海洋開発技術戦略策定の中間発表 日本財団
16:55	パネルディスカッション ～2030年に求められる将来技術～ コーディネーター：鈴木英之 東京大学教授 パネリスト：David Thompson, Shakir Shamshy, Stephen Sheal, Rob Jones, Kevin Whooley, Anne Grete Ellingsen
17:45	閉会

【問い合わせ】

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

日本財団海洋開発人材育成推進室

TEL: (03) 6229-2611 / FAX (03) 6229-2626

E-mail: ocean_innovator@ps.nippon-foundation.or.jp

